



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 石光商事株式会社

代表者名 代表取締役社長執行役員 森本 茂

(JASDAQ・コード2750)

問合せ先 常務取締役執行役員管理部門長 山根 清文

(電話番号 078-861-7791)

平成 27 年 3 月期通期業績予想および配当予想の修正
ならびに役員報酬の減額の継続に関するお知らせ

平成26年8月11日に公表いたしました通期業績予想および配当予想について、下記のとおり修正するとともに、役員報酬の減額の継続を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 平成27年3月期通期業績予想の修正について

1. 平成27年3月期通期業績予想値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,993	141	55	11	1円50銭
今回修正予想(B)	35,882	△164	△139	△151	△19円71銭
増減額(B-A)	△1,110	△306	△194	△163	—
増減率	△3.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	34,607	279	233	159	20円69銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,439	0	△2	△26銭
今回修正予想(B)	35,495	△182	△164	△21円29銭
増減額(B-A)	△943	△182	△162	—
増減率	△2.6%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	34,284	236	135	17円64銭

2. 修正の理由

(1) 連結

主として「(2) 個別」の修正の理由によるものであります。

(2) 個別

コーヒー生豆相場の高騰、その他の品目での原料高に加え、著しい円安によるコスト上昇等の影響を余儀なくされました。経費削減によりそれらを吸収するとともに、販売価格への転嫁を進めつつ、営業拡大に努めましたが、売上高につきましては、前回予想を2.6%下回る見込みであります。

利益面につきましては、上記の経費削減、値上浸透努力に加え、注力商品・分野の選別を進め、営業強化を図ったことにより、第3四半期以降、緩やかな持ち直し傾向が見られますものの、コスト上昇分の販売価格への転嫁実施が一部で遅れたこと等が響き、低下した売上総利益率を大きく回復するまでには至らず、前回予想を下回る見込みであります。

II. 配当予想の修正について

1. 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(平成26年8月11日発表)	0円00銭	未定	未定
今回修正予想	0円00銭	2円00銭	2円00銭
当期実績			
前期実績(平成26年3月期)	0円00銭	10円00銭	10円00銭

2. 修正の理由

当社は、株主のみなさまに対する適切な利益還元を最重要課題の一つとして位置づけ、業績に応じ、かつ安定した配当を行うことを基本方針とし、個別での配当性向30%を目標としております。

平成27年3月期の期末配当予想につきましては未定としておりましたが、「I. 平成27年3月期通期業績予想の修正について」のとおり、通期業績予想が前回予想よりも下回る見込みであるため、誠に遺憾ながら、上記のとおり期末配当予想を修正させていただきます。

株主のみなさまには深くお詫び申し上げますとともに、業績の早期回復を目指して努力する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

III. 役員報酬の減額の継続について

「I. 平成27年3月期通期業績予想の修正について」を真摯に受け止め、経営責任を明確化させるため、下記のとおり役員報酬の減額の継続を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 役員報酬減額の内容

代表取締役	: 月額報酬の40%を減額
専務取締役	: 月額報酬の30%を減額
常務取締役	: 月額報酬の25%を減額
取締役	: 月額報酬の10~15%を減額

2. 対象期間

平成27年4月より平成27年9月までの6ヶ月間

※ 上記業績予想値等は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上